

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

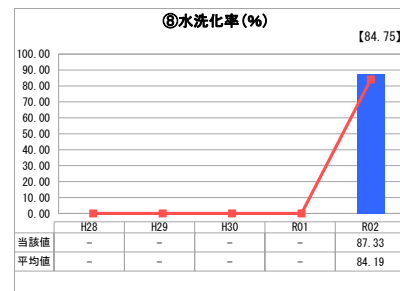
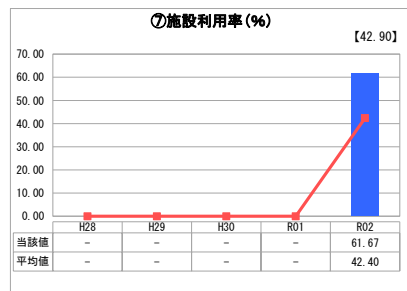
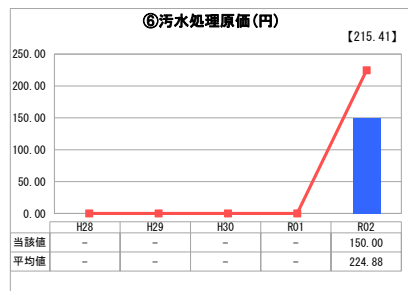
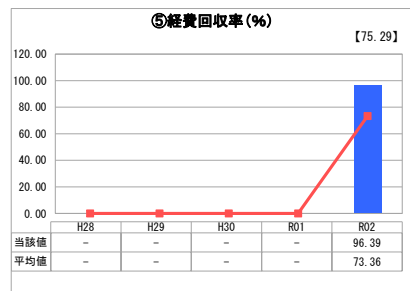
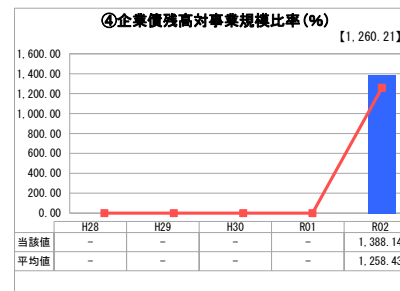
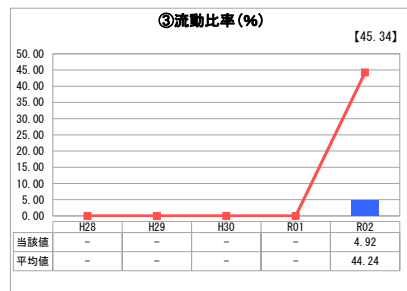
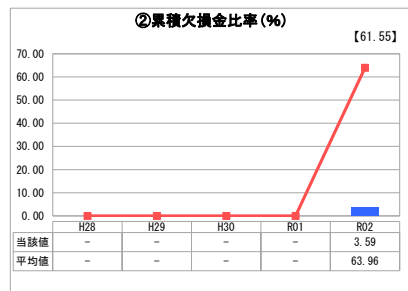
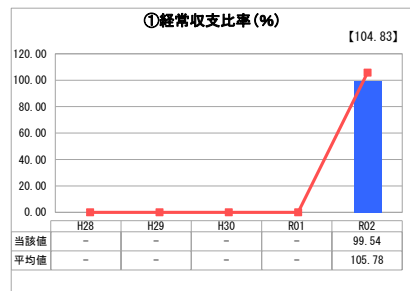
岡山県 新見市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	68.34	21.94	97.30	3,270

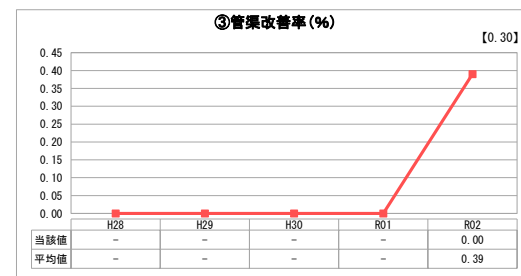
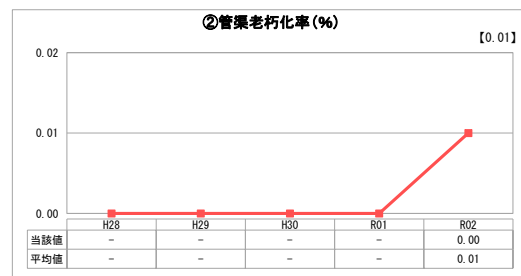
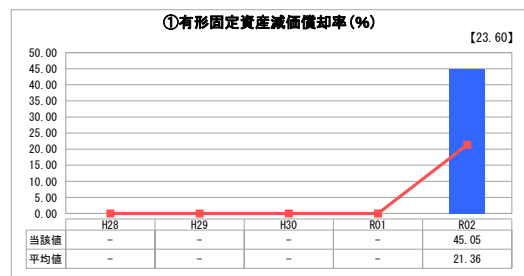
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
28,396	793.29	35.80
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,186	2.57	2,407.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業会計に移行したことに伴い、令和元年度以前（法非適）の数値はこの分析表に記載されていません。

①経常収支比率が100%を割り込む赤字経営となっている。

②累積欠損金比率は、維持管理に係る不足費用を一般会計繰入金により賄っているが、貸倒引当金の計上に係る部分が当年度純損失となった。

③流動比率は、一年以内償還の起債元金が多額であるため、比率が低くなっている。

④企業債残高対事業規模比率は、全国平均や類似団体平均を上回っているが、起債残高が多額であり営業収益で不足する分は一般会計からの繰入金で賄っている。

⑤経費回収率は100%には満たないが全国平均や類似団体平均よりは高い状況である。汚水処理経費に対する使用料収入の不足分を一般会計からの繰入金で賄っている状況であることや流動比率が低いことからより慎重な財政運営が必要となっている。

⑥汚水処理原価は、長期前受金収益化分や汚水処理費に算定されない高資本費が多額であるため類似団体や全国平均より低くなっている。

⑦施設利用率は、全国平均や類似団体平均を上回っており、処理場を有効に利用できている。

⑧水洗化率については、年々向上しているが人口減少に伴い処理人口等も減少傾向となっており大幅な上昇は見込めない状況であるため接続勧奨等で未接続世帯の接続促進を図る必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

施設は比較的新しく、管渠については当面改修・更新等の必要はないが、処理場については長寿命化計画に基づき、電気設備の更新を進めている。

## 全体総括

収益的には赤字であり、施設効率の改善、水洗化率の向上、適正な下水道使用料の改定を行うことが必要である。

なお、施設効率の改善策として、平成30年度に近接する公共下水道との統合を行った。

また、今後「下水道事業ストックマネジメント計画」を策定し、効率的な施設更新に取り組む事としている。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。